



年4回発行 [令和6年6月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1  
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764

ホームページアドレス <https://www.city.awa.lg.jp/gikai/>



### 令和6年第1回

### 阿波市議会臨時会の概要

第1回臨時会は、2月13日に1日の会期で開かれました。令和5年度阿波市一般会計補正予算、条例の一部改正などの市長提出議案2件の概要と提案理由の説明があり、いずれも可決しました。

### 令和6年第1回

### 阿波市議会定例会の概要

第1回定例会は、2月26日から3月22日までの26日間の会期で開かれました。開会日には町田市長から、新ごみ処理施設、能登半島地震への支援、阿波市特産品認証書授与式、柿原放課後児童クラブ落成式等についての行政報告がありました。また、令和6年度阿波市一般会計予算などの議案について概要と提案理由の説明がありました。代表・一般質問は3月7日、11日の2日間に行われ、13人が市政全般について理事者の考えを問い、教育・環境・地方創生・建設・財政・危機管理・健康福祉・商工観光・子育て支援関係等について議論しました。13日に総務、15日に文教厚生、18日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案及び請願をいずれも可決及び採択しました。追加議案として、予算案件1件、条例案件2件、人事案件3件、委員会発議の意見書1件が提出され、いずれも同意・適任及び可決しました。このあと正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新議長に笠井安之議員、新副議長に武澤豪議員が就任しました。

### 代表質問

松村 幸治 議員  
(志政クラブ)



**問** 小・中学校体育館のエアコン設置について。猛暑への対応は。

**答** 大規模な施設改修が必要となるが、県内外事例を参考に調査研究を進め、よりよい教育環境の創出に努めていきたい。

**問** 小学校入学前のリユースバック支給について。新1年生全員に配布しては。

**答** 保護者等の要望を十分考慮しながらしっかりと判断していきたい。

**問** 阿波市に建設予定の新ごみ処理施設について。稼働するまでのスケジュールは。

**答** 現施設の稼働期限まで残り1年4カ月となったが、造成工事を行ったうえで2年程度を見込んでいます。

**問** 現行のごみ処理施設(土成町、吉野町)への遅延に対する周辺対策について。

策についても、継続して周辺住民の方々に理解してもらえよう。板野町、上板町と調整していく。

笠井 安之 議員  
(はばたき)



**問** 令和6年度予算編成において、財政健全化に向けて町田方ラーをどのように出していくのか。

**答** こども家庭センター設置等子育て支援の充実や、みどりの食料システム戦略を踏まえた農業の振興、スマートインターチェンジなどの社会資本整備を進める。一方で、更なる歳入の確保に向け、ネーミングライツの導入、ふるさと納税の増加、市税等の徴収率向上に取り組んでいく。

**問** 地域活性化事業の推進についての市長の考え方は。

**答** 阿波市総合戦略として新しい人の流れを掲げ、市内外への情報発信、移住・定住の促進など、自然と調和した住環境や子育て環境を前面に出して事業を進めている。また、地域を活性化するために、本市の基幹産業である農業の振興や企業誘致など、地域における仕事づくりや結婚への支援、切れ目のない子育て支援を進めていく。

**問** 用排水路の維持管理について行政負担をどうするか。

**答** 施設の維持管理については、原則所有者が行うことになっていくが、土地改良区等が所有する用水路は、パイプラインの整備により排水路へと役割が変化している。こうした状況も踏まえ、所有者による維持管理を原則としつつ、維持管理の方法や必要な財源、行政負担のあり方などについて議論を深めていく必要がある。

**問** 活力ある持続可能な地域社会の実現について、市場町が過疎地域に指定されている。過疎対策事業を最大限に活用したまちづくりについて。

**答** 過疎地域持続的発展計画に基づき事業を進めている。過疎対策事業を活用し、地方創生の起爆剤となる(仮称)阿波スマートインターチェンジ等の社会基盤の整備、ソフト事業では移住・定住や産業の振興等に活

榎原 浩一 議員  
(阿波みらい)



**問** 今後の防災対策の改善について。

**答** 被災地に派遣した本市職員が確認した課題などを分析し、課題や対策を踏まえ、本市の防災対策を見直していく。

**問** 水道施設の耐震化の現状と対策について。

**答** 延長約1.7kmの基幹管路のうち、耐震管および耐震性があると評価できる区間の耐震適合率は35.8%、約42kmである。阿波市水道工事店協同組合と災害時における水道施設の円滑な応復旧に向けた協定書を締結し、体制を構築している。

**問** 計画の検討中であり、現時点で金額を示すことはできない。入浴助成券交付事業の利用状況は。更なるサービスの向上はできないか。

**答** 令和4年度の交付率は21.5%、利用率は30.2%。今後のサービスについては、指定管理者とともに調査・検討する。

**問** 国や県からの交付金や補助金による生活支援について。

**答** 低所得世帯に10万円、住民税非課税の子育て世帯に子ども1人につき5万円を支給。一人当たり3,000円の生活応援券の発行、3カ月間の水道料金軽減、電気料金・資材高騰の影響を受けた小売業者・農業者への支援、学校給食への支援などを実施してきた。

**問** 有機農業拡大のため、生産振興や消費拡大にどう取り組むか。

**答** 生産振興として、有機転換推進事業補助金(10a当たり2万円)や、環境に優しい農業に取り組み農業者応援事業補助金(10a当たり4,000円)の支給。消費拡大として、有機農産物の周知・啓発、PR販売や学校給食での活用を進める。

**問** 給食費の無償化について。

**答** 1食あたりの給食費の値上がり分(小学校38円、中学校42円)について、ふるさと納税による寄付金を活用し、保護者負担額を据え置く。無償化については今後も検討していく。

**問** 50歳以上の帯状疱疹ワクチン接種費用の助成ができないか。

**答** 国が助成する定期接種に位置付けられれば、従来の定期接種同様に支援する。

**問** 本市の指定避難所の数と受け入れ可能人数について。

**答** 指定避難所が33か所、福祉避難所が11か所あり、受け入れ可能人数は合計5,039人。更に感染症対策のサブ避難所5

か所で224人、合わせて5,263人が受け入れ可能である。

**問** 組織機構改革の新年度の取組と考えるについて。

**答** 効率的で財政負担に配慮した組織体制を図るため、機構改革は極めて重要だと認識している。また、市議会から提出された政策提言も参考とし、働き方改革やワーク・ライフ・バランス等にも配慮した、必要な機構改革を適宜実行していく。

**問** 令和7年4月1日に市政施行20周年を迎えるが、記念事業についての考えは。

**答** 中心的な公式行事として記念式典を、将来につながるイベントとして記念事業などを開催したいと考えており、市主催の事業だけでなく、様々な世代の市民に参画してもらえよう検討を進める。

**問** これまでの20年間の歩みを振り返り、将来の阿波市の展望について。

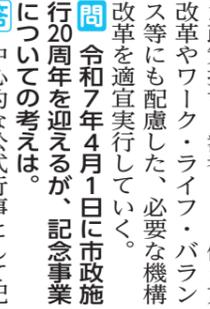
**答** 阿波市発展のため、ソフト・ハード両面から様々な施策、事業を進めてきた。一番大きな変化は人口減少問題で、産業の衰退や空き家の増加、税収の減収などを引き起こし、今後もこの傾向は続くと思える。事務の効率化や行政改革に注力し、自主財源の確保を図り財政基盤を強化すると同時に、市民が主役のまちづくりを進めていく。

坂東 重夫 議員  
(はばたき)



**問** 災害廃棄物置き場候補として協力的な3つの民間事業と

武澤 豪 議員  
(志政クラブ)



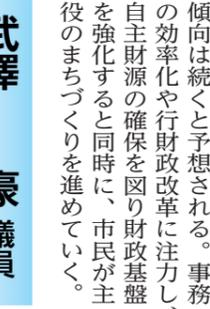
取組状況について。

家屋の耐震化の現状、市の

取組状況について。

一般質問

藤本 功男 議員  
(はばたき)



一般質問

後藤 修 議員  
(はばたき)



後藤 修 議員

提携し準備を行っているが、発災時にアクセス道路が利用できない可能性もある。発災時におけるアクセス道路の整備についてどう考えているか。

仮置き場は高台に位置しリスクも懸念されるが、市内の土木業者で組織する災害対策会と連携し迅速な応急工事が行えるよう調整する。安全性の向上に向け多角的に検討する。

令和6年度から新たにご家庭センターが設立されるが、どのような業務を行うのか。

子育て世代包括支援センターぎゅっと等を引き継ぎ、子育て家庭に対する相談支援を一体的に実施する組織となる。相談者に寄り添い負担軽減すること、少子化対策の一助となるような支援を行う。

子育て対策の予算は見えてくるが、結婚から出産までの少子化対策にはあまり予算を割いていないように感じる。持続的なまちづくりには少子化対策は必要不可欠と考えるが、市長の考えは。

マリッサとくしまと連携して婚活イベント参加の際の費用や、マッチングシステム利用登録費用の支援などを行っている。県や関係団体と協議しながら対策に磨きをかけていきたい。

### 竹内 政幸 議員

(志政クラブ)



本市における森林環境譲与税の活用状況は。また、新年度の取組の予定は。

令和5年度のがんばる農業者応援給付金事業の給付実績は。新年度も継続するの。

給付実績は、個人農業者1,596件、農業法人48件、総額で1億1,652万円となる。新年度においては、当初予算には盛り込んでいないが、今後、本市農業に重大な影響を及ぼすと見込まれる場合には、効果的な施策を展開し、本市の基幹産業である農業を全力で支えていく。

新規就農者への補助金・助成金はどうなるものがあるか。

国の新規就農育成総合対策、市の新規就農安定経営支援事業、魅力と活力で次世代になく阿波市農業振興事業等がある。新規就農者の育成と確保に向け、事業を継続していく。

市内世帯の自治会加入率は。また、未加入者への広報はどのように行っているか。

令和4年4月1日時点で加入率は57.5%。未加入者へは広報あわ、ホームページ、ケーブルテレビ、LINEなどにより広報に努めている。

### 櫻原 伸 議員

(志政クラブ)



阿波市の防災・減災対策、応援協定について。

令和4年度までに64か所の企業等と応援協定を結び、今年度は資機材提供協定を締結した。災害に強いまちづくりへの決意を示した阿波市災害対策基本条例を制定しては。

災害対策基本法に基づき、平成17年に策定した阿波市地域防災計画を最上位計画として、11回の見直しを行ってきた。阿波市地域防災計画を柱とし、防

災対策本部条例、防災会議条例等により、災害時には迅速な対応を図れるよう検討していく。

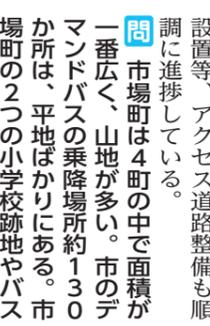
18歳以下のインフルエンザワクチン予防接種への助成について。

子どもへのインフルエンザワクチンの定期接種化については、国からは、発症及び重症化を防止する有効性は限定的であり、個人の判断で任意に接種を行うべきとされている。公費助成については引き続き研究していく。

スマートインターチェンジの現在の状況はどうか。

### 原田 健資 議員

(志政クラブ)



現在の状況として、ボックスカルバートの施工や、市道掘削、斜面の掘削及び補強などを行っている。今後は、現在の工事を進めながら順次工事を促進していく。また、進入レーン新設に伴う道路拡幅、歩道の新規設置等、アクセス道路整備も順調に進捗している。

断水時の有効な手段の一つとして、他市の状況等調査していく。備蓄品については、使用期限が迫ったものを必要な方に適正に使用してもらえよう努める。

行政の体制について、退職による人員の補充に対する考えは。

途中退職・休職については、会計年度任用職員を採用し、適切な業務執行に当たっている。

保育教諭の待遇改善について。

保育教諭は、教育・保育を一体的に行うことも園において必要不可欠であり、適切な人員を配置している。待遇改善については、働き方改革などを考慮しながら適正な改善に努めていく。

### 黒川 理佳 議員

(無所属)



新ごみ処理施設について、固形燃料の受入先は。また、今後も現在予定している燃料化方式で計画を考えていくのか。

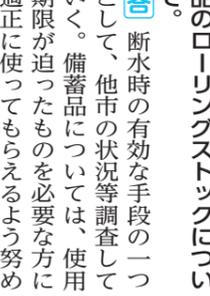
固形燃料の受入れ側と協議・調整を進めていく。燃料化方式は、経済性や環境面に優れた方式であると考えられるため、今後も1市2町で一日も早い建設工事の着手に向け取り組んでいく。

生ごみ処理について、家庭用生ごみ処理器であるキエーロに対する補助を行ってはどうか。

現在、コンポストの無料配布や電気式生ごみ処理機の購入補助を行っている。今後市民ニーズや効果、コスト面などを考慮し検討していく。

### 野口加代子 議員

(花メロデー)



阿波市における認知症予防の取組について。

広報あわでの啓発や生活支援体制整備事業等を行っている。発症要件に社会的孤立があるため、市内に住民主体の小地域交流サロンが設置されている。新たなサロンの設置希望に対し、開設支援を行っている。

認知症の方の見守り体制についての現状と課題について。

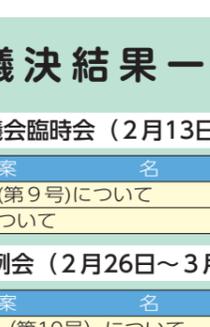
見守りキーホルダーや靴のかかかると貼るシールの配布、緊急通報装置の貸与、GPS機器の購入・レンタル費用の補助等を行い、認知症サポーター養成講座では、延べ約4,100名が受講している。今後も認知症

各自防災組織との連携体制をどう取りまとめるのか。

自主防災組織連合会会長と連携し、連絡体制を整え、協議・調整が必要な場合には個別のやり取りをしている。今後は連絡協議会の設置も検討している。

### 野口加代子 議員

(花メロデー)



断水時の有効な手段の一つとして、他市の状況等調査していく。備蓄品については、使用期限が迫ったものを必要な方に適正に使用してもらえよう努める。

## 議案番号及び議決結果一覧表

### 令和6年第1回阿波市議会臨時会 (2月13日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	令和5年度阿波市一般会計補正予算(第9号)について	原案可決
議案第2号	阿波市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決

### 令和6年第1回阿波市議会定例会 (2月26日～3月22日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第3号	令和5年度阿波市一般会計補正予算(第10号)について	原案可決
議案第4号	令和5年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第5号	令和5年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第6号	令和5年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第7号	令和6年度阿波市一般会計予算について	原案可決
議案第8号	令和6年度阿波市御所財産区特別会計予算について	原案可決
議案第9号	令和6年度阿波市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第10号	令和6年度阿波市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第11号	令和6年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
議案第12号	令和6年度阿波市介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第13号	令和6年度阿波市水道事業会計予算について	原案可決
議案第14号	令和6年度阿波市農業集落排水事業会計予算について	原案可決
議案第15号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第16号	阿波市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	阿波市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の廃止について	原案可決
議案第18号	阿波市住民集会所施設設置条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	阿波市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	阿波市農地中間管理機構関連農地整備事業に係る特別徴収金に関する条例の制定について	原案可決
議案第21号	阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第22号	阿波市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	阿波市道路線の変更について	原案可決
報告第1号	債権の放棄について	-
請願第1号	日本政府に保育所等保育施設の職員配置基準改善等を求める意見書の提出を求める請願	採 択
議案第24号	令和6年度阿波市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第25号	阿波市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	阿波市副市長の定数を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	監査委員(議会選出)の選任について	同 意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任
発委第1号	日本政府に保育所等保育施設の職員配置基準改善等を求める意見書について	原案可決
-	議長選挙について	選 挙
-	副議長選挙について	選 挙
-	徳島中央広域連合議会の議員選出について	選 挙
-	中央広域環境施設組合議会の議員選出について	選 挙
-	阿北特別養護老人ホーム組合議会の議員選出について	選 挙
-	阿北環境整備組合議会の議員選出について	選 挙
-	阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	選 挙

## 活動状況報告

### 委員会等の開催状況 (2月～5月)

令和6年 2月7日	議会運営委員会 全員協議会
13日	令和6年第1回阿波市議会臨時会 全員協議会 会派代表者会 議会運営委員会
19日	令和6年第1回阿波市議会定例会本会議(開会) 全員協議会
26日	令和6年第1回阿波市議会定例会本会議(閉会) 全員協議会
3月7日	令和6年第1回阿波市議会定例会本会議(代表・一般質問)
11日	令和6年第1回阿波市議会定例会本会議(一般質問) 議会改革特別委員会 総務常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会
13日	令和6年第1回阿波市議会定例会本会議(閉会) 全員協議会
15日	議会広報特別委員会
18日	
22日	
5月14日	

高齢者見守りネットワーク事業を啓発し、体制づくりを進める。

第4次阿波市男女共同参画基本計画について。

アンケート調査を行い、その結果も考慮し第4次阿波市男

女共同参画基本計画を策定した。定期的に施策の取組状況や達成状況を点検・評価する等の推進管理も盛り込んだ。

大規模地震など災害発生時の医療体制について。

市内4か所に医療救護所を開設し、市医師会が傷病者のトリアージを行い、吉野川医療センターなどの災害拠点病院へ搬送する。今後も国・県と協議し体制整備を進めていく。

人は行動によって新たな喜怒哀楽を経験する。また、行動により、心が暖かく強くなる機会も増える。時には怒りや哀しみを味わうが、それも経験となる。

日々のニュースでは、戦争、地震、災害、詐欺、貧困など、誰もが嬉しくない情報が流れている。明るい未来にするための行動が必要だ。

### 議会たより編集雑感

阿波市民として行動していくとともに、一議員として議会の使命を果たせるよう努めていきたい。(野口加代子)